

研修名	依存症関連問題実務者ネットワーク研修会 「依存症関連問題にまつわる最近の話題」
内 容	話題提供①「節酒治療の取り組み」 話題提供者：新門司病院 診療部長 櫻井 修 氏 話題提供②「少年の大麻再乱用防止の取り組み」 話題提供者：福岡県保健医療介護部薬務課麻薬係 係長 児玉 臨 氏
開催日時	令和4年1月28日（金）18：00～20：10
開催方法	オンライン（Webex Meetings）
参加者数	16名 （内訳：医師、保健師、看護師、心理士、社会福祉士など）
研修の 内容等	依存症関連問題に携わる実務者を対象に、各機関の業務内容や役割を知るとともに、具体的な連携をしていくために、実務者同士で現状や課題を共有し、依存症支援に有効なネットワークを構築することを目的に、研修会をオンラインで開催した。 今回は、前半で話題（節酒と大麻）を2題提供してもらい、後半はグループワークを実施した。5～6名ずつの3グループで、各グループに精神保健福祉センターの職員をファシリテーターとして配置した。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">・節酒の実状が分かって良かったです。早期発見早期治療が大切だと思います。・プログラムを患者さんが分かりやすいようにイラストなどで工夫、視覚的な情報を多用することが必要だと思いました。・グループワークを通して、参加者と意見交換することができ、有益でした。・取り組み内容を知ることができました。・断酒だけではなく、節酒という目標、とにかくドロップアウトしないような関わりが大事だと思いました。・既存の断酒プログラムに節酒を希望する人をどう組み入れるかが課題と思います。・少年への大麻再乱用防止プログラムでは、とにかく相手に伝わるように情報の伝え方がいろいろなところで工夫されていて、感心しました。・オンラインでのワークショップは、1人ずつの発言になるので時間が少し足りない感がありました。・名刺交換などができないのが残念です。